佐野市景況レポート

平成31年1~3月期

佐野商工会議所 〒327-0027 佐野市大和町2687-1 TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517 HP http://www.sanocci.or.jp E-mail s-cci@sanocci.or.jp 調査協力:佐野市あそ商工会

《 概 況 》 景況感悪化、3カ月先の見通しも悪化

【 平成 31 年 1~3 月期 実績 】

全業種業況 DI 指数は \triangle 19.6、前期(12 月期)比 \triangle 3.5 ポイントの業況悪化となりました。 利益 DI 指数 \triangle 29.2(前期比 \triangle 3.6)、売上高 DI 指数 \triangle 20.4(前期比 \triangle 6.7)、原材料・仕入価格 DI 指数 27.8(前期比+5.5)、販売価格 DI 指数 0.5(前期比+3.1)と、原材料・仕入価格の指数上昇と売上高 DI 指数の低下が利益 DI 指数の低下、業況悪化に繋がりました。労働力 DI 指数は \triangle 33.2(前期比 \triangle 0.7)と過去最高の人不足感を再更新しました。

【 2019年4~6月期 見通し 】

全業種業況 DI 指数は \triangle 17.0 (前期比 \triangle 4.4) と、今後の 3 ヶ月間は業況悪化を予想しています。売上高 DI 指数は \triangle 15.6 (前期比 \triangle 5.6) と、2019 年 4~6 月期見通しは、売上高 DI 指数低下による業況悪化を予想しています。

【 事業所等の景況コメント他 】

景況に関するコメントには、「人材不足・採用難」、「売上減少・景気悪化」、「GW 10 連休問題」、「消費増税問題」などが挙げられました。前期(12 月期)コメントに比べ、売上減少・景気悪化感が強まりました。

平成31年4月より、個々の事情に応じた多様な働き方を選択できる社会を実現するための「働き方改革関連法」が施行されました。主な内容は次の三点です。①長期労働時間の是正、②多様で柔軟な働き方の実現、③雇用形態に関わらない公正な待遇の確保です。中小企業への適応は大企業より1年遅れになりますが、魅力ある職場づくりは人手不足解消にもつながるため、早めの準備・実施をお勧めします。

[佐野市内における業況天気図]

	実 績 (平成 31 年 1~3 月期)		見通し(2019年4~6月期)	
業況	▲ 19. 6	\$	▲ 17. 0	←
売 上 高	▲ 20. 4	\$	▲ 15. 6	\$
販 売 価 格	0.5	•	2.5	200
仕 入 価 格	27.8	J	21.5	€
労 働 力	▲ 33. 2	J	_	

*天気図の説明 (数字は DI 値) ・仕入価格、販売経 費、在庫は DI 値を マイナス評価

***	*	~		June 1
晴れ	薄日	曇り	小雨	雨
26 以上	11~25	10~▲10	▲ 11~ ▲ 25	▲26 以下

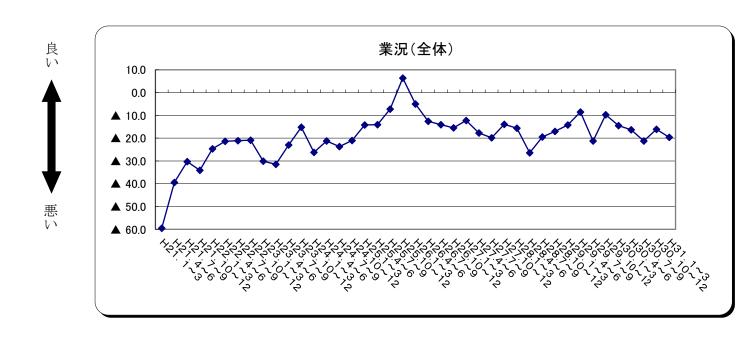
調査協力: 〇 K コンサルティング 代表 岡野 清(中小企業診断士)

☆ 業況について (平成31年1~3月期実績)

全業種 DI 指数▲19.6、前期比 3.5 ポイント低下 業種別 DI 指数 (上位 5 業種)



① その他の製造業及び機械・金属製造業 0.0 ポイント、③サービス業▲5.9 ポイント、④化学・プラ製造業▲11.1 ポイント、⑤設備業▲11.5 ポイント

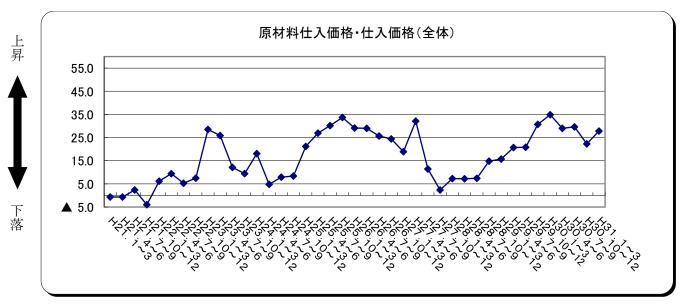


☆ 原材料仕入価格・仕入価格について(平成31年1~3月期実績)

全業種 DI 指数 27.8、前期比 5.5 ポイント上昇 業種別 DI 指数 (上位 5 業種)



①卸売業 55.6 ポイント、②小売業 (飲・食料品) 55.6 ポイント、③食品製造業 42.9 ポイント、④繊維品製造業 36.0 ポイント、⑤飲食店 31.0 ポイント

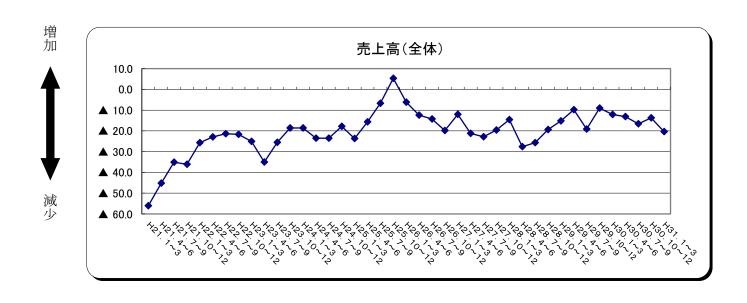


☆ 売上高について(平成31年1~3月期実績)

全業種 DI 指数 ▲ 20.4、前期比 ▲ 6.7 ポイント低下 業種別 DI 指数 (上位 5 業種)



①化学・プラスチック製造業 7.7 ポイント、②その他の製造業 0.0 ポイント、③設備業 $\Delta 5.9$ ポイント、④機械・金属製造業 $\Delta 7.7$ ポイント、⑤サービス業 $\Delta 13.0$ ポイント



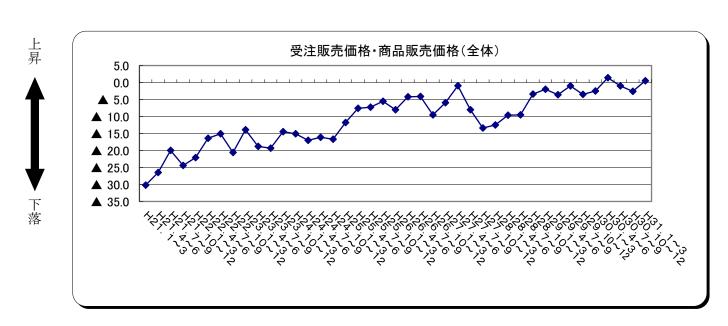
☆ 受注販売価格・商品販売価格について (平成31年1~3月期実績)

全業種 DI 指数 0.5、前期比 3.1 ポイント上昇





①卸売業 31.0 ポイント、②その他の小売業(大型店含む)20.0 ポイント、③機械・金属製造業 0.0 ポイント、④飲食店 0.0 ポイント、⑤食品製造業、小売業(飲・食料品)0.0 ポイント

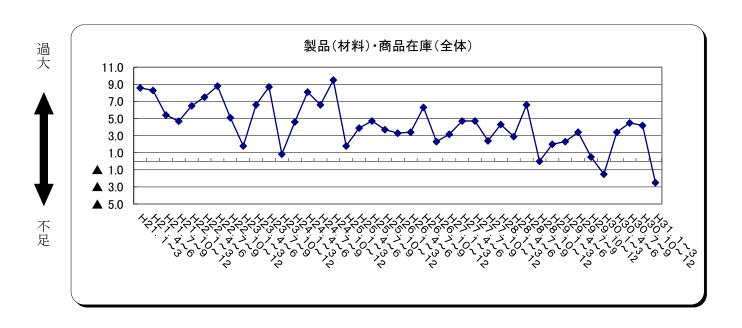


☆ 製品(材料) 在庫・商品在庫について(平成31年1~3月期実績)

全業種 DI 指数▲2.5、前期比▲6.7 ポイント低下 業種別 DI 指数 (上位 5 業種)



① 機械・金属製造業 3.8 ポイント、②化学・プラ製造業 3.7 ポイント、③建設業及び設備業、食料品製造業 0.0 ポイント

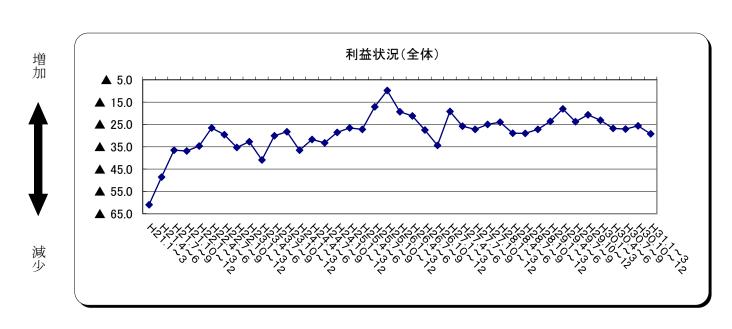


☆ 利益状況について (平成31年1~3月期実績)

天気図

全業種 DI 指数▲29.2、前期比▲3.6 ポイント低下 業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

① その他の製造業 0.0 ポイント、②その他の小売業 ▲ 10.7 ポイント、③化学・プラ製造業 ▲ 19.0 ポイント、④設備業及び建設業 ▲ 23.1 ポイント

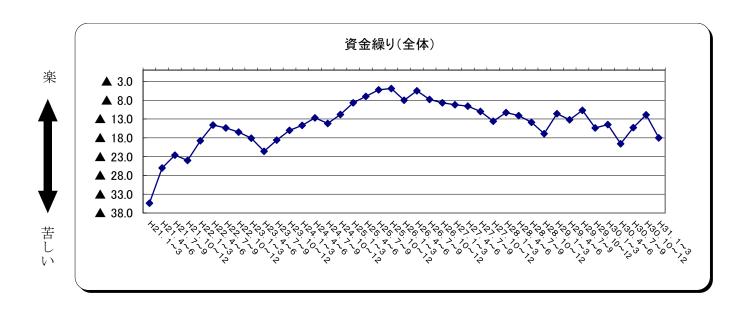


☆ 資金繰りについて(平成31年1~3月期実績)



全業種 DI 指数▲18.0、前期比▲6.1 ポイント低下 業種別 DI 指数(上位 5 業種)

- ①卸売業 20.0 ポイント、②その他の製造業 15.8 ポイント、③建設業 0.0 ポイント、
- ④食品製造業▲5.7ポイント、⑤小売業(飲・食料品)▲9.7ポイント

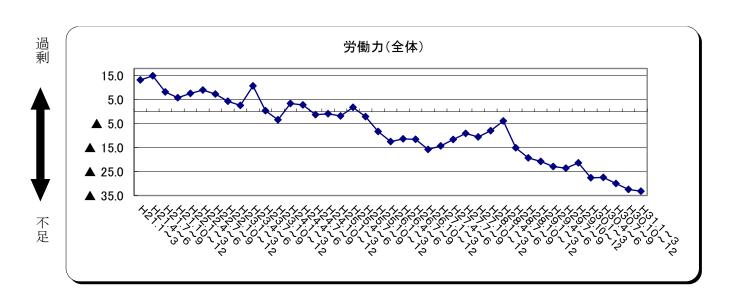


☆ 労働力について(平成31年1~3月期実績)



全業種 DI 指数▲33.2、前期比▲0.7 ポイント低下 業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

①卸売業 0.0 ポイント、②その他の製造業▲15.8 ポイント、③食品製造業▲25.0 ポイント、④設備業▲29.4 ポイント、⑤飲食店、▲31.0 ポイント

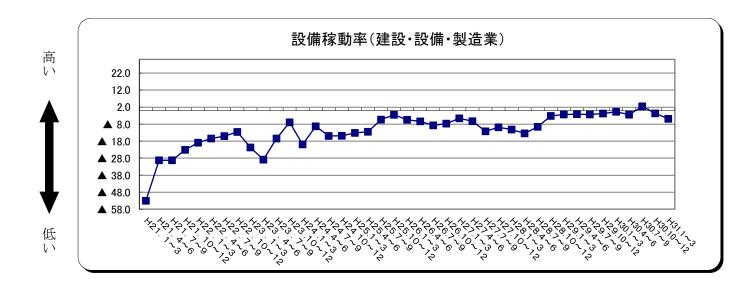


☆ 設備稼動率について(平成31年1~3月期実績) (建設・設備・製造業関係)



全業種 DI 指数▲4.9、前期比▲3.2 ポイント低下

- 業種別 DI 指数 (上位 5 業種)
 - ①設備業 0.0 ポイント、②機械・金属製造業▲3.9 ポイント、③建設業▲7.0 ポイント、
 - ④繊維品製造業▲12.0 ポイント、⑤食品製造業▲17.0 ポイント

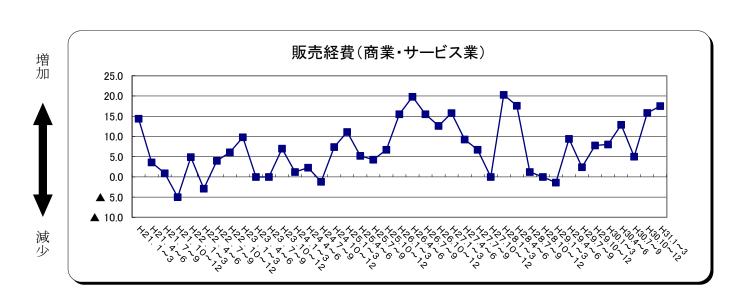


☆ 販売経費について(平成31年1~3月期実績) (商業・サービス業関係)



全業種 DI 指数 17.5、前期 1.7 ポイント上昇 業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

①小売業(飲・食料品)55.6 ポイント、②サービス業25.0 ポイント、③飲食店15.8 ポイント、④卸売業9.7 ポイント、⑤その他の小売業(大型店含む)0.0 ポイント



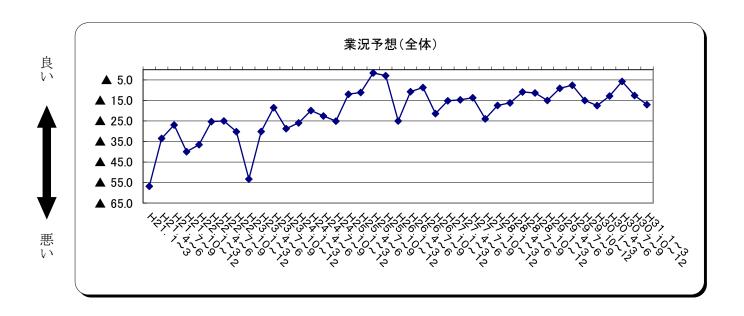
☆ 今後3ヶ月先(2019年4~6月期の見通し)の業況について

全業種 DI 指数▲17.0、前期比▲4.4 ポイント低下



業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

①化学・プラ製造業 3.6 ポイント、②機械・金属製造業 \triangle 3.7 ポイント、③その他の小売業 (大型店含む) \triangle 11.5 ポイント、④その他の製造業 \triangle 15.8 ポイント、⑤食品製造業 \triangle 17.6 ポイント

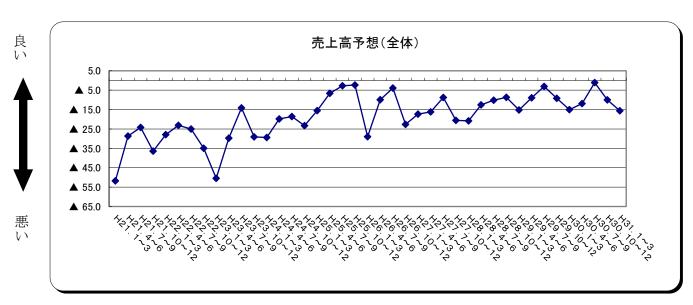


☆ 今後3ヶ月先(2019年4~6月期の見通し)の売上高について

全業種 DI 指数▲15.6、前期比▲5.6 ポイント低下 業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

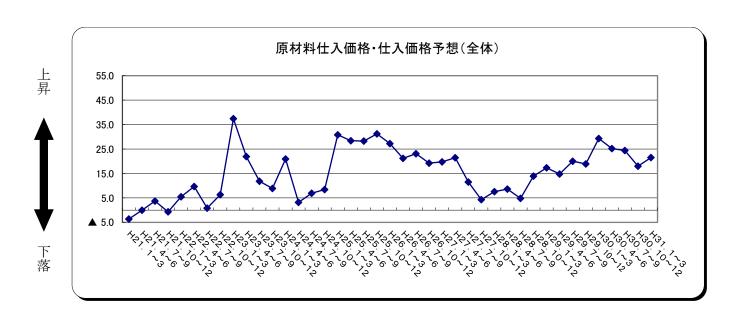


①化学・プラスチック製造業 3.7 ポイント、②機械・金属製造業 0.0 ポイント、③その他の小売業(大型店含む) $\blacktriangle 5.5$ ポイント、④食品製造業 $\blacktriangle 12.0$ ポイント、⑤サービス業 $\blacktriangle 13.0$ ポイント



全業種 DI 指数 21.5、前期比 3.5 ポイント上昇 業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

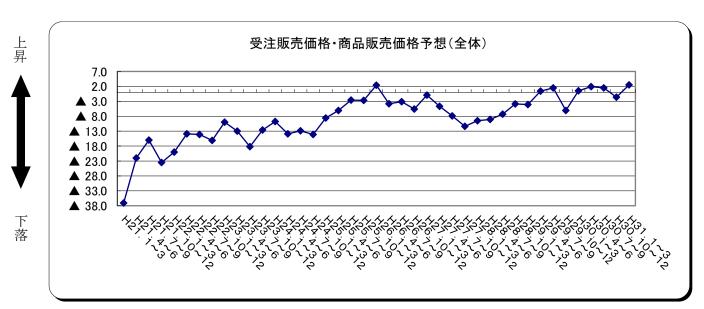
①卸売業 55.6 ポイント、②繊維品製造業 36.0 ポイント、③その他の小売業(大型店含む)32.1 ポイント、④小売業 31.0 ポイント、⑤食品製造業 29.4 ポイント



☆ 今後3ヶ月先(2019年4~6月期の見通し)の受注販売価格・商品 販売価格について 下気図

全業種 DI 指数 2.5、前期比 4.1 ポイント上昇 業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

①卸売業 20.0 ポイント、②小売業 (飲・食料品) 20.0 ポイント、③その他の小売業(大型店含む) 15.3 ポイント、④食品製造業 11.5 ポイント、⑤飲食店 9.7 ポイント



☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景気に対するコメント欄」に ご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

建設業

· 人手不足。

設備工事業

・景気がもう少し上向きになってくれるといいです。

繊維品製造業

・オリンピックの景気の流れがまったくありません。どういうことなのでしょうか?

食品製造業

- ・製造面を強化出来ましたので、チャンスロスが少なくなっています。お客様にも恵まれ、 良いお取り引きが出来ております。ただ、パートさんを募集してもなかなか採用出来て おりません。(人が来ないです。)
- ・売上が上がっても仕入価格が上がっている。
- ・GW10連体って政府はなにを考えているのでしょうか?連休明け経済がガタガタになってますよ!!10連体でよろこぶのは学生だけですよ。政府は本当に消費増税するのですか?景気悪くなりますよ。中止にすれば対策予算も使わずに済むでしょう!!消費増税反対です。
- ・GWの10連休がどう影響するのか読めず困っております。
- ・年が明けてから業況・売上が下落している。大型連休が転機と予想しているが、良い方 向に変わると思えない。(要素がない。)

機械・金属製品製造業

- ・新しい年号、またはオリンピックが終わって先行の見通しが不透明。
- ・激動の平成もあと1ヶ月余りで終わります。平成天皇も被災地に出向かれ大変な御公務 だと思います。5月1日からの新元号の時代は明るいものであることを望みます。
- ・ 景気悪くないと思います。 ゴーンさんは静かにしてて下さい。 イギリスはどうするか早く決めて下さい。 平穏が一番です。
- ・テレビなどでも景気が下がるとの事、心配です。
- ・9月以降景気が悪化の予想。
- ・販売価格も仕入価格も落ちついた状態になってきているが、売上の伸びが思ったより上 昇しない為最終の利益に結びつかないのが現況である。

化学・プラスチック製品製造業

- ・純利益が見込めない。
- ・現状近々の受注はあるが、先行引合がようやく少し出てきた。来期の出だしがややおさえぎみかも?集中する時期が増々集中する傾向にある。客先の労働改革が上がり都合が一緒になってきそう!!対応出来なくなり、生産売上が平均化しない!
- ・今後の見通し良い。
- ・プラスチック市況により大きく変動する。
- ・得意先決算時期、1月~4月ごろまで仕事減少。

その他製造業

- ・人手不足、納期がない、材料価格の高止まり、受注はあるが内容が良くない。
- ・先の見通しが不明。あまり良い話も聞こえてこない。

卸売業

・来期にかけて新規事業に投資する。何もしなければタイトになっていくだけなので。

小売業(飲·食料品)

- ・売上の減少に伴い材料の仕入は控えめである。商品の在庫も控えめに、人員は最低人数で仕事しています。
- あいかわらず景気よくならず。
- ・運送コストがこんなに商品に影響するとは?原料は上がる、小豆、小麦粉特に小豆の価格は不作続きで倍になって簡単に値段が上げられず苦しい。
- ・従業員確保と駐車場確保に苦労しています。
- ・原材料の値上りが続き、5月には当店も値上げをしなくてはならないと思います。

その他の小売業(大型店含む)

- ・既存得意先の金属関係のユーザーの需要が多い。好景気感は徐々に感じる。
- ・1月~2月は前年度より上昇したが、3月は下落すると思う。消費品種が車とか、保険、 衣料の方へ動くと思う。
- ・ $4 \sim 6$ 月にかけては、10 連休のGWや元号変更など今までにないイベントが控えてます。商機を逃さない様にしたいとおもいます。
- ・消費者の先行きの不安で売上げは減少傾向にあるような気がする。
- ・専門店への顧客の減少により売上も減少している。

飲食店

- ・今年に入って今までにない売上げのダウンをしてしまいました。
- 現況のまま消費税が上がると相当景気が落ち込むと思う。

サービス業

- ・今年もし消費税が10%になると仕入等も上昇すると思うと先々が心配です。
- ・今年秋からの消費税10%導入後に消費が減少しなければ良いが。
- ・仕事量はあるが、時期的な事もあり売上に繋がらないので資金繰りが苦しい。
- ・土地分譲が出来ない状態。(土地の仕入れができない。)

佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 平成31年1月~3月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など 290社(内訳:佐野商工会議所地区(旧佐野市)200社、佐野市あそ 商工会地区(旧田沼町・旧葛生町)90社)を対象として実施し、195 社(回答率67.2%)から回答がありましたものを取りまとめたものです。
 - (1) 建設業

1	建		設		業	25社
2	設	備	工	事	業	21社

(2) 製造業

- ① 繊 維 品 製 造 業 22社
- ② 食 品 製 造 業 18社
- ③ 機械·金属製品製造業 40社
- ④ 化学・プラスチック製品製造業 36社
- ⑤ その他の製造業 22社
- (3) 商業・サービス業
 - ① 卸売業15社
 - ② 小売業 (飲·食料品) 23社
 - ③ その他の小売業 (大型店含む) 27社
 - ④ 飲食店19社
 - ⑤ サ ー ビ ス 業 22社
- 3 分析方法[景況動向指数(DI)による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、 $+100 \cdot -100$ となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

D I 方式は、
$$3x-3z$$
 × 100により算出 $3x+4y+3z$

x:「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y:「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z:「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合先 佐野商工会議所経営支援課 Tm (代表) 0283-22-5511

